

＜小樽＞後志地区「思想信教の自由を守る日」集会

「自由の国アメリカ」と「平和な国日本」を問う

2月11日（金）午後2時から、小樽公園通教会において「思想信教の自由を守る日」集会が行われました。今年は藤井創さん（酪農学園大学）をお招きし、“「自由の国アメリカ」と「平和な国日本」を問う ～平和を造り出すキリスト者の群れ～”というテーマで講演をしていただきました。映像を用いての、非常に良い学びの時間となりました。

この集会で、藤井先生はご自身の経験から語られるアメリカという国家と、アメリカにある教会のナショナリズムを、9.11事件とイラク戦争という切り口から示してくださいました。人種差別や宗教的な差別など、複雑な背景がある中で、古くから西欧キリスト教が犯してきた多くの罪を振り返り、現代の戦争の背景にあるナショナリズムの危険性を改めて考えさせられる機会を与えられました。講演中にご紹介してくださった映像は、大変ショッキングな内容のものもありましたが、参加者ひとりひとりが、世界で今起きている現実から目を背けてはならないということを再確認したのではないかと思います。アメリカという国家が抱えている闇と問題を鋭く指摘しつつ、けれども多数派ではなく、少数の本当に良心的な人々の言葉からこそ、わたしたち日本のキリスト者も学ぶべきことが多いと教えられました。政府のプロパガンダに惑わされることなく、わたしたちは正確な情報を探しながら、右傾化が進むこの社会で、争うことではなく和解し共に生きる社会を造り出す者でありたいと思わずにはいられなくなる・・・そんな良い集会となりました。藤井先生に感謝いたします。